

○薬剤耐性菌に関するワーキンググループ（第48回）（非公開）

日時：令和5年5月24日（水）14：20～16：08

議事概要：

- （1）ツラスロマイシンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシン KP\*）の承認に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

- 評価対象動物用医薬品が、牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来の畜産食品を介してヒトがハザードにばく露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できないことから、リスクの程度は低度であると考えた。
- なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

- \* ツラスロマイシン等を主剤とする動物用医薬品として、牛の発熱を伴う細菌性肺炎の治療薬に使用される予定です。